



河野としのり

レポート

河野の県議

神谷俊一 千葉市長



2025 新春 対談

子育てと仕事の両立



河野としのり県議

市長は人口減少の中で都市としての活力や拠点性の維持を常に課題として考えられ、その中で、子育てと仕事を両立できる環境を目指す強い意志を表明されています。千葉市は、こども医療費助成の対象を高校生年代まで拡大し、また「多子世帯の負担軽減」も進めておられます。更に、「こども発達相談室」を開設され、就学前のこどもの発達に不安を抱える保護者を対象に、こどもの特性への理解を深め、発達障害の早期発見、早期支援につなげる体制も作られました。親の負担軽減やこどもの成長には非常に心を寄せられておられるという印象を持っていますが、この点について市長の想いをお聞かせ下さい。

神谷千葉市長

仕事と子育てを両立できる環境を整えていくということは、子育て世帯への支援の1番重要なことだと思っています。先ずこどもを預けるところがなければ、仕事のキャリアを中断しなければいけませんので、待機児童をゼロにすることを、子育て支援策の1番の柱にしています。

5年連続での待機児童ゼロを継続

現在、こどもの数は減少傾向ですが、保育施設を利用したい人の数は年々増えており、今後も増え続ける見込みです。そこで、幼稚園を認定こども園に移行して頂くとか、民間の認可保育園を増やしたりして、受け入れ人数拡大に努めています。そうした取組みもあり、令和2年4月から千葉市では、5年連続での待機児童ゼロを継続している

ところです。

使用済みの紙おむつ、各園で廃棄できるよう補助金

また、保護者負担の軽減も図っていきたく思っています。使用済みの紙おむつを各園で廃棄できるよう補助金を出しています。

公立保育所・認定こども園における3歳以上児への主食提供

更に、公立保育所は3歳以上児の給食はおかずしか出していないませんでした。ご飯は家庭から持ってきて下さいということになっていまして、完全給食ではなかったのです。しかし、子育てをする保



護者の方にとって朝は忙しいので、保育所でご飯を提供することで負担を軽減する取り組みを始められています。また休日保育や、病児病後児保育、これもコロナ対策の影響でなかなかご利用しにくい状態になっていたのですが、受入れ枠を増やしていく取り組みを始めていただいています。

保育士の方を確保する為、千葉市手当を3万円から4万円に増額

今、保育士の確保が難しい状態になっていますので、本当は国の責任で保育士の給与水準を引き上げてもらって、千葉県内どこに動いても保育士さんの給料がきちんと確保できる状態が望ましいのですが、なかなかそうはできていませんので、実際は千葉市が上乗せして手当を出しています。千葉市手当においても、令和7年4月から月額最大3万円から4万円に引き上げ、千葉市内の保育園内で働いていただける保育士の方を確保していきたいと思っています。

河野としのり県議
それは大事ですね。それがないと給料のより良い東京都とか他の自治体に流れます。

神谷千葉市長
保育士の資格をとられて、千葉市ではなく、他市に就職された方の話を聞いてみたのですが、やはり待遇の面を重視されていました。千葉市内に勤務していただけるように手当を拡充した次第です。

河野としのり県議
子どもルームについても、受け入れ枠の拡大や整備に力を入れていただいていますね。

神谷千葉市長
子どもルームにつきましては、令和6年4月に本市で初めて待機児童ゼロを達成しました。そのほか、男性の育児休業取得にも引き続き取り組んでいます。

子どもルームの受け入れ枠の拡大

待機児童解消に向けた具体的な取り組みとして、令和6年4月入所の申込み状況から、待機児童の発生が見込まれた小学校区において、放課後の特別教室等の活用を図るとともに、ルームごとの利用児童の出席状況から、利用可能な人数を算定し、

運営に支障のない範囲内で受入れ枠の拡大を図りました。

「夏季限定ルーム」を設置

また、夏季休業期間のみ利用したい家庭の希望に対応するため、夏季休業期間中の利用に限定した「夏季限定ルーム」を設置し、家庭のニーズにきめ細やかに対応することにより、真に4月から利用を希望する児童の受入れ枠を確保することに力を取り組んだところです。

利用者の負担格差を是正

さらに、今年度からは、公設子どもルームと同様に、低所得世帯及び第2子以降の利用料を減免する民営民営の子どもルームに対し、補助を実施することで、利用者の負担格差を是正し、民間子どもルームの利用促進に取り組んでいます。

男性の育児休業取得を促進

育児休業につきましては、男性の取得率が向上しつつあるものの、いまだ女性に比べて低い水準

となっている現状があります。そのため、男性の育児休業取得を促進し、男性が積極的に育児に関わることに、より、男女ともに仕事と家庭生活のより良いバランスをとることができるよう、市内の中小企業に勤務されている男性に、育児休業取得に係る奨励金を支給するほか、男性の育児に関する講習会や男性の育児を支援するための情報を掲載したハンドブックにより、周知啓発活動を行っています。

今後も引き続き、多様なニーズや社会情勢の変化に的確に対応し、子育てと仕事の両立を支援するとともに、すべての子どもや子育て家庭の支援の充実に取り組んでいきます。



都市機能の確保・充実と幕張新都心への企業誘致

神谷千葉市長

企業誘致で、税源の涵養・雇用の創出を進める

企業誘致は、税源の涵養、雇用の創出及び地域経済の活性化に資するとともに、本市における今後の拠点性の維持・発展に必要不可欠なものです。また、福祉・教育分野への支援など、市民生活の向上のための様々な施策への財源を生み出す重要な事業でありまして、積極的に取り組んでいます。

河野としのり県議

この度、プラント建設大手の東洋エンジニアリング(株)が幕張新都心に移転し、企業誘致の大きな成果の一つとなったと聞いています。私もエンジニアとしてそこに20年間勤務していましたので、海浜幕張駅頭で懐かしい方にお会いできそうです。



企業誘致を拡大する幕張新都心



河野としのり県議
市長はよく、千葉市に企業を誘致・集積して経済活動の拠点を創り、雇用や教育、福祉への財源を確保し、地域を活性化すると話されます。

JR京葉線ダイヤ改正

河野としのり県議

例のJR京葉線のダイヤ改正の話がよく美浜区民だけでなく県全体でも話に上ります。今回は大幅変更を伴う突然のダイヤ改正となりました。県民は非常に驚きましたが、過去の例から見ると、JRが一旦出してしまつて、もう変えるのは無理ではないかと思つたんです。しかし、神谷市長がこ

神谷千葉市長

ダイヤは市民生活と経済活動に、見合ったものでなくてはならない

そうですね。鉄道ネットワークは、極めて重要な公共交通手段であり、まさに都市基盤です。そのダイヤは美浜区にお住まいの市民の方々の市民生活と経済活動、事業活動に見合ったものではないといけないと思つています。今回JRさんが一旦発表されたダイヤは朝夕の快速が一切無くなるという内容だったので、東京都内に通われている方にとっては、美浜区に生活するにあたって支障があるもの、住む前提を覆すものであります。私としては強く回復の申し入れを行いました。JR側にも異例の対応をしていただき、一年を待たずに一部快速が復したわけでありましたけれども十分ではありません。先生がおっしゃいましたように、東京からの帰宅時の快速がまだ不十分です。さらに改善していく必要があります。

これまであまり極端なダイヤ改正がなかったこともあり、ダイヤ改正自体についてJRと協議する場がありませんでした。ただJRさんとはまちづくりですとか、駅周辺の活性化ですとか、口頭から連携して取り組んでいる会議体があります。今回その会議体でダイヤ改正についても、定期的に議論させて頂いて、市と経済界からJR東日本さんに対して要望をできる場を作っています。一時的なものではなく、定期的に開催して、相互の理解を深め、共にまちづくりに取り組んでいけるような形を作りまして、県からもこれからは助力を頂き、連携を図っていきたくと考えています。直近のニュースですが、令和6年12月13日に、JR東日本千葉支社は「令和7年3月15日から京葉線夕方以降3本の下りの各駅停車を快速に格上げし、海浜幕張ー西船橋間で2往復増発する」とダイヤ改正を発表しました。



千葉市とJR東日本、経済界の三者からなる会議体でダイヤ改正についても定期的に意見交換する

またメルセデス・ベンツの日本法人の本社を品川から幕張に移して頂きました。これは千葉市が脱炭素の取り組みに先行的に取り組んでいるということを評価して頂き、「企業価値を高めることに直結する」という判断のもと、移転を決定していただきました。このように、「そこに立地することが企業の課題を解決し、また企業の価値を上げて行く」と思っている街づくりと企業立地の施策をこれからも続けていきたいと思います。

千葉市に立地することが企業の課題を解決し、また企業の価値を上げて行く

神谷千葉市長
会社としての就業環境の見直しをしなければいけない事情があつて、場合によっては、もし千葉市に受け皿がなければ都内に移転した可能性もあります。ですから、幕張新都心への移転を千葉市として強く働きかけ、支援策を提示することで、幕張新都心への移転を決定して頂きました。やはり企業立地は、当初補助金等で支援はしますが、その後、まとまった税収も市としては期待できます。それが教育や子育て支援など独自施策の財源になっていきます。今後も企業立地地力を上げて、またトップセールスも含めて進めていきたいと思います。

※幕張新都心の立地促進補助メニューは、賃借料補助 最大2000万円、法人市民税補助 最大相当額を5年間雇用奨励補助 最大1億2000万円(操業開始後5年間の2回)、千葉市民の雇用に対する補助、オフィス環境整備等補助 最大1000万円、オフィスの移転や内装等に對する補助、社員採用補助 最大500万円(社員採用経費に対する補助)

河野としのり県議

東洋エンジニアリングも前は東船橋駅から歩いて行き、次のオフィスは新習志野駅からまた会社まで歩いて行き、どちらも店も少なく立ち寄る所が少ない場所でしたが、今度幕張新都心のビルに移りますと、海浜幕張駅前に多くの店やレストラン、映画館もあり、社員の皆様も新しい気持ちになられると思います。

神谷千葉市長

企業立地で地域経済の活性化を進める

1600人(グループ4社含む)の従業員の方々が毎日幕張新都心に通われることになり、地域の活性化にもつながります。また、研究施設も本社の移転に先駆けて土気緑の森工業団地に移転して頂いています。会社の中枢の機関をいずれも千葉市内で展開して頂くことになっており、大変ありがたく思っています。

河野としのり県議

県の方は今度、「千葉県JR線複線化等促進期成同盟」の定期総会などでダイヤ改正も議題に挙げるということをやってきましたが、そういうダイヤ改正についてより具体的な定期的な協議する場ができあがるということは、美浜区民にとって有り難いと思います。



居住地区ベイタウン・ベイパーク側に設置される海浜幕張駅新駅舎

神谷千葉市長

県も、全県の観点から様々なことをJRと定期的に話し合う場を持つておられますし、市としても、これまでのJRとの協議の場を使わせて頂いて、都市基盤にとって重要な問題であるダイヤ改正についても定期的に意見交換をして、実態にあったダイヤ改正につなげていきたいと思います。

JR京葉線・りんかい線との相互直通運転

河野としのり県議

次に、JR京葉線とりんかい線との相互直通運転のことですが、市も県への要望の一つとしてあります。市長から見て今後どのような状況でしょうか。

神谷千葉市長

今、JR東日本さんは、羽田空港へのアクセス線の強化をしていますが、この動きと合わせてJR京葉線とりんかい線の相互直通運転を実現すると、東京湾岸の利便性は大きく向上すると思うのです。

りんかい線と京葉線の相互直通運転は、京葉線の快速を確保する上でも重要

そのりんかい線と京葉線の相互直通運転という

のは、実は京葉線の快速をこれからしっかりと確保する上でも重要です。帰りの快速が十分に復便していないのは、新木場駅の混雑が要因とされています。特に帰宅時間帯は快速待ちでホーム上がかなり混雑し、ホーム上の安全確保が難しくなるために快速運転を増やすことができないという背景です。ところが京葉線とりんかい線が相互直通運転しますと、新木場駅の乗り換えが要らなくなる方が沢山いらっしゃるから、ホーム上の混雑が相当程度改善される可能性があります。相互直通自体も千葉から新宿方面、千葉から渋谷方面、また羽田空港へのアクセスが格段に上がります。そうしますと、京葉線の新木場駅の負担も軽減されますので、快速が十分に復便出来ないという原因が解消されていきます。京葉線とりんかい線の相互直通運転については千葉市も沿線自治体の一つとして県の複線化等促進期成同盟などと連携し、

働きかけを行っています。線路の容量や運賃の受け渡しの課題があるようですが、JR東日本さんや東京臨海高速鉄道の株主である東京都と、そこで調整がないと前に進まないで、ぜひこれに関東全体のために実現して頂きたいと思っております。



路線バスの維持と移動手段の確保

河野としのり県議

路線バスについて、お聞きしたいんですけど、民間事業者の方々も精一杯ご努力されていますが、コロナ禍以降もバス路線の減便・廃止が続いています。市民生活を守り、都市機能を維持する為にも、どのようにお考えでしょうか。

神谷千葉市長

これは大きな問題になってまして、路線バスは生活に必要な移動手段ですから、ここはしっかり確保していかなければいけないと思っています。今回赤字と言うよりも運転手が



確保できないということで、極端な話、黒字路線でも減便・廃止路線となっているところもあります。しっかり運転手を確保する取り組みをしていかなければなりませんし、運転手確保のための支援金も、予算を拡充して、市内のバス事業者の方に支援をしている状況であります。

千葉市は市営バスがありませんので、全て民間事業者の方に運行をお願いする状況です。その中で各社の路線が重なっているところもあります。それを、例えば路線に重なって二台通っていたら、調整して一台は別の路線を走らせるなど、バスを競合路線だけに集中するのではなくて、市の補助金などを活用しながら、何とか路線ごとに各社の間で、市も調整に入りながら振り分けてもらえるようなことを考えています。

限られた運転手の確保はもちろんですが、運転士さんがどうしても増えない状況の中で、各社の路線を調整することで、地域のバス路線の維持を実現する仕組みができないか、今各バス事業者と意見交換をしているところです。

河野としのり県議

コロナ以前からコロナ後のバス路線の回復率は収益は70%から80%にとどまって、しかもテレワークやズームで仕事をする人が増え交通利用者が減り、益々バス路線の減便・廃止が進んでいます。住民の方も移動手段をどうするかというと、貸し自転車等を活用せざる得ない状況です。



神谷千葉市長

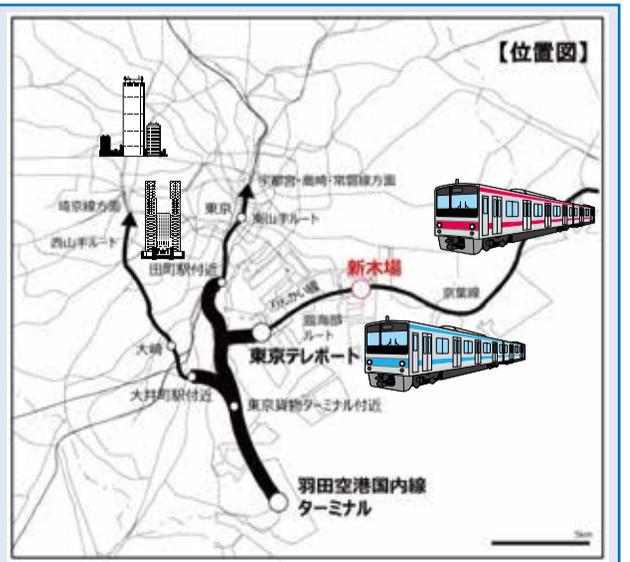
住民の方の移動手段の確保は大切で、様々な取り組みをしています。美浜区ではシェアサイクルに市も力を入れて配備しています。バスを補完する日常的な身近な移動手段として多くの方にご利用頂いています。単に自転車だけではなく、免許が不要な特定小型原動機付自転車の設置も進んでいます。そういう新しいサービスを事業者の方に協力頂いて身近な移動手段として使っていただける環境作りをしようと思っています。



河野としのりプロフィール

昭和48年 早稲田大学理工学部卒業
50年 早稲田大学大学院修士課程修了
同年 東洋エンジニアリング株式会社入社
平成7年 千葉県議会議員初当選
16年 千葉県監査委員

17年 防災対策委員
20年 民主党県連幹事長
令和5年 千葉県議会議員8期当選
現在 立憲民主党千葉県連合会副代表



資料は、国土交通省HP掲載の「へ東京圏における国際競争力強化に資する鉄道ネットワークに関する検討会」調査対象路線(案)についてより

●河野としのり事務所 ●〒261-0013
千葉市美浜区打瀬1-2-2 幕張パークタワー305
TEL. 043-211-0024

